

TamaHome®

**2015年5月期 第3四半期
決算説明補足資料**

タマホーム株式会社 < 1419 >
2015年4月14日

目次

1. 発表のポイント (P. 3)
2. 受注実績 (P. 4)
3. 売上高実績 (P. 5)
4. 営業利益実績 (P. 6)
5. 住宅事業セグメント実績 (P. 7)
6. 非住宅事業セグメント実績 (P. 8)
7. 連結損益計算書(P/L) (P. 9)
8. 連結貸借対照表(B/S) (P. 10)
9. 通期見通し (P. 11)

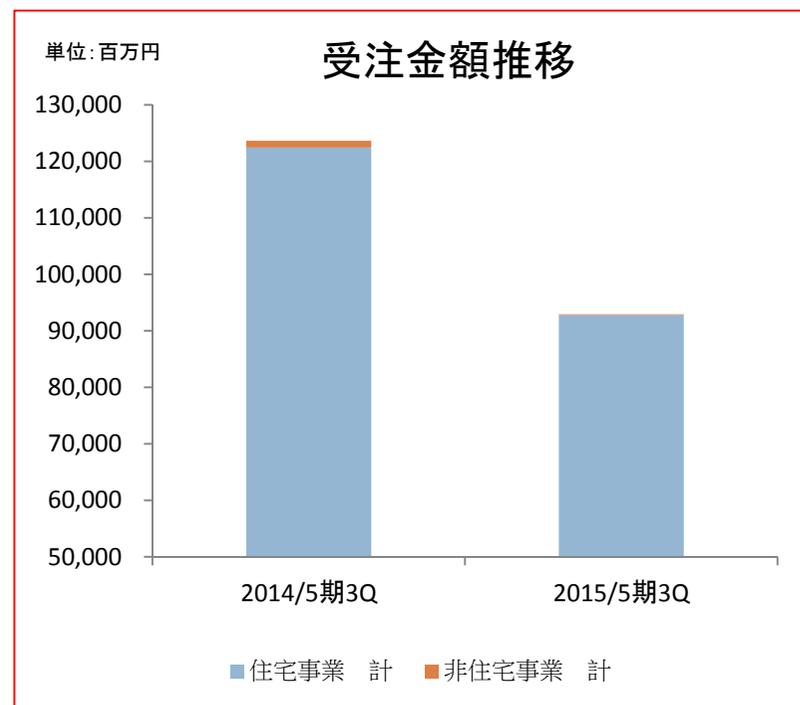
発表のポイント

- 消費増税後の需要反動減からの回復が鈍く、受注低迷で減収減益
- 2014年11月に決定した消費増税先送りの影響や、週末の天候不順による来場数減少が続いていた。なお、足元では回復の兆しが出ている

受注

- 住宅事業は、2014年4月からの消費増税後の反動減からの回復が鈍く、天候不順による集客減少などの影響もあり、前年同期比で24.2%の減少
- リフォーム事業は前期に発生した子会社の不祥事の影響で受注活動停止、来期から本社の新部門として活動を再開

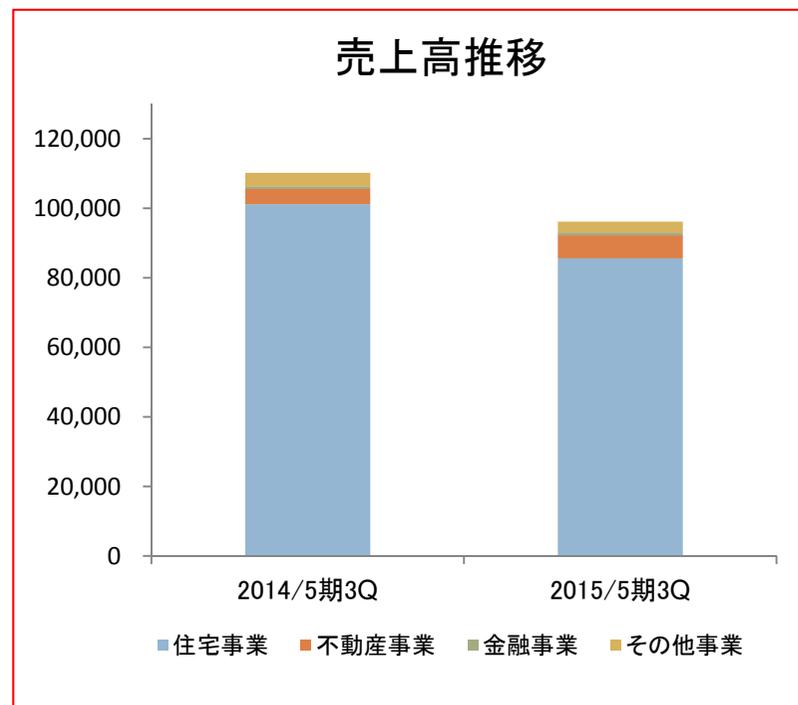
(単位:百万円)		受注金額			
		14/5期	3Q	15/5期	3Q
注文住宅		119,489		92,479	77.4%
(棟数)		6,948		5,202	74.9%
賃貸住宅		301		79	26.4%
リフォーム		2,671		235	8.8%
住宅事業 計		122,462		92,794	75.8%
非住宅事業		1,193		157	13.2%
総 計		123,656		92,951	75.2%



売上高

- 住宅事業は消費増税後の受注減に伴い、前年同期比で減少
- 不動産事業は、分譲戸建の販売が低調に推移したものの、第2四半期のマンション用取得用地売却が寄与し、前年同期比で増加
- 金融事業は火災保険付保率の向上、住宅ローン提携先の見直しにより手数料単価の上昇で前年同期比で増加

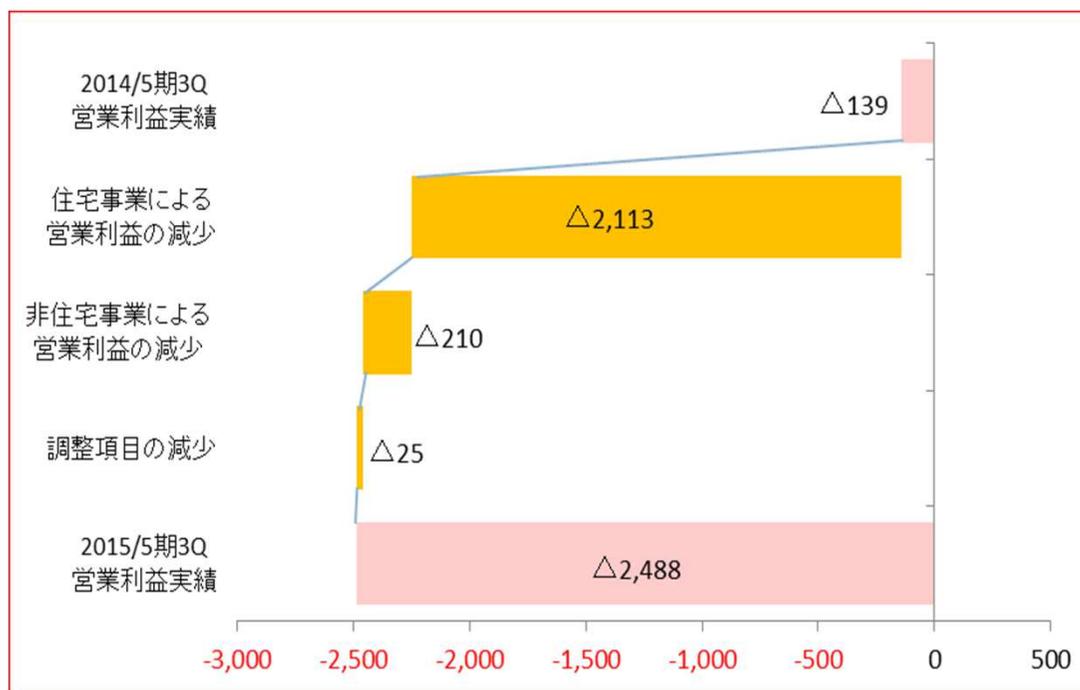
(単位:百万円)	売上金額		
	14/5期 3Q	15/5期 3Q	前期比
住宅事業 計	101,176	85,608	84.6%
不動産事業	4,417	6,611	149.7%
金融事業	787	844	107.2%
その他事業	3,831	3,103	81.0%
非住宅事業 計	9,036	10,558	116.9%
総計	110,212	96,167	87.3%



営業利益

- 住宅事業は引渡棟数が前年を大幅に下回ったことから減益
- 不動産事業においては、大規模開発案件を始めとする分譲戸建の販売は低調でしたが、マンションの販売は好調に推移。2Qのマンション用取得用地売却が増益に寄与
- その他事業は、住宅事業における引渡棟数の減少により、住宅周辺事業が低調に推移。また、海外事業の経費増加により損失額が拡大

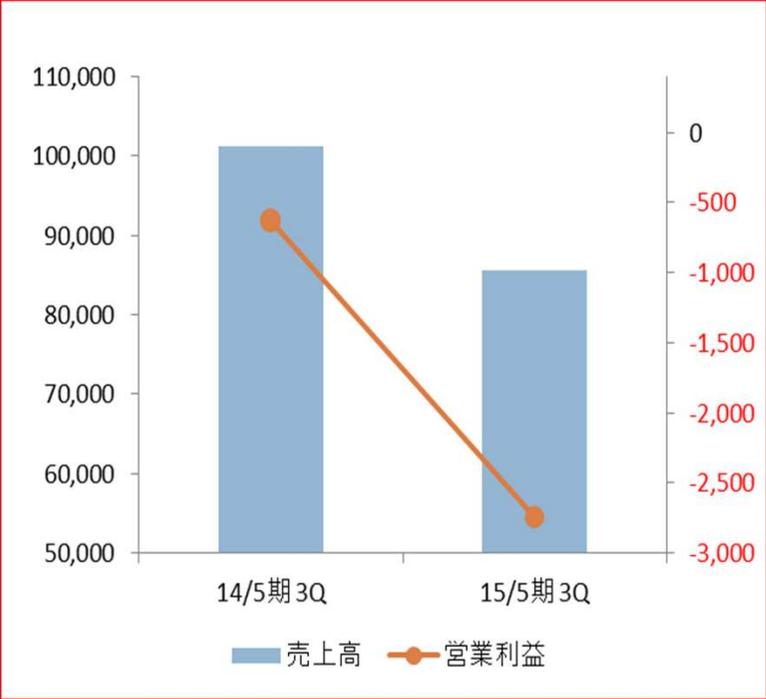
(単位:百万円)	営業利益金額		
	14/5期3Q	15/5期3Q	前期比
住宅事業 計	-628	-2,742	-
不動産事業	342	592	172.9%
金融事業	336	408	121.5%
その他事業	-177	-709	-
非住宅事業 計	502	291	58.1%
調整額	-12	-38	-
総計	-139	-2,488	-



住宅事業セグメント

- 売上高 : 85,608百万円(前年同期比 84.6%)
- 営業損失 : 2,742 百万円(前年同期営業損失 628百万円)

- 注文住宅の引渡棟数大幅減少により、売上高は前年同期比減
売上の減少に伴い、前年同期比では営業損失拡大
- 注文住宅平均販売単価は上昇
 (2014/5期3Q) 1,682万円
 (2015/5期3Q) 1,753万円
- モデルハウス出店と既存店リニューアル
 新規出店 21店舗(うち移転7店舗)
 …九州2、中四国4、関西5、東海北陸3、首都圏2、北関東2、
 東北・北海道3店舗
- 1月より、国内初の戸建て向け太陽光パネルと蓄電池を組み合わせ
たリース&レンタルサービスを開始。



非住宅事業セグメント

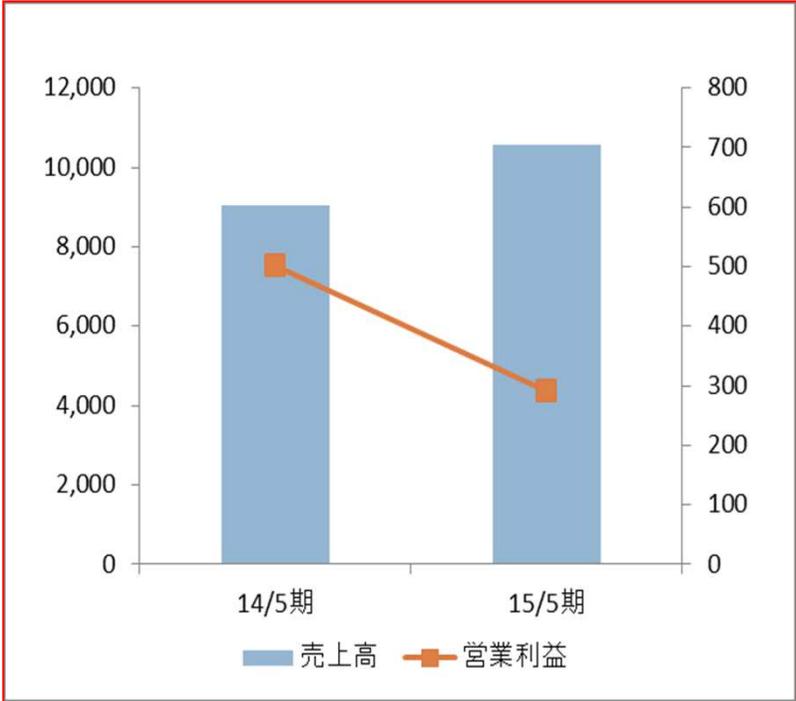
- 売上高 : 10,558百万円(前年同期比 116.9%)
- 営業利益 : 291百万円(前年同期比 58.1%)

- 不動産事業

大規模開発案件を始めとする分譲地の販売低調、マンション事業は好調推移、2Qのマンション用取得用地の売却が寄与し増益
- 金融事業

引渡棟数減少も、火災保険付保率、単価共に上昇
フラット35の手数料単価の上昇による収益増に伴い増益
- その他事業

住宅事業における引渡棟数の減少により、住宅周辺事業が低調に推移、海外事業に関わる経費増加で減益



連結損益計算書 (P/L)

- 売上総利益率 24.7% : 完成工事原価の圧縮により前年同期比で上昇
- 営業損失 2,488百万円 : 住宅事業の引渡棟数減少、それに伴う住宅周辺事業の低迷、
海外事業に関わる経費増加が影響し営業損失拡大
- 特別損失 377百万円 : モデルハウス建替・移転に伴う廃店等による固定資産除却損・リース解約損

(単位:百万円)	2014/5期 3Q	2015/5期 3Q	増減	前期比
売上高	110,212	96,167	-14,045	87.3%
売上総利益	26,780	23,747	-3,032	88.7%
利益率	24.3%	24.7%	0.4%	-
営業利益	-139	-2,488	-2,349	-
利益率	-	-	-	-
経常利益	-222	-2,703	-2,481	-
利益率	-	-	-	-
税引前当期純利益	-305	-3,081	-2,776	-
利益率	-	-	-	-
当期純利益	-636	-2,575	-1,938	-
利益率	-	-	-	-

連結貸借対照表 (B/S)

- 資産 : ①現預金の減少:新規出店費用、新規分譲地の購入、及び受注減
②たな卸資産の増加:新規マンション・分譲案件の土地仕入等による仕掛用不動産の増加、未成工事支出金の増加、出店数の増加に伴う有形固定資産の増加
- 負債 : ①支払手形、工事未払金の減少:手持ち工事棟数の減少
②有利子負債の増加:マンション事業プロジェクト等の投下資金増加

(単位:百万円)	2014/5期4Q	2015/5期3Q	増減	(単位:百万円)	2014/5期4Q	2015/5期3Q	増減
流動資産	60,163	58,650	-1,513	負債合計	70,947	77,619	6,671
現金・預金	29,475	21,909	-7,566	支払手形 工事未払金等	27,643	20,109	-7,533
受取手形・完成工事未収入金等・営業貸付金	4,564	3,881	-683	短期有利子負債	5,522	12,115	6,592
たな卸資産	19,556	26,522	6,966	未成工事受入金	18,017	22,492	4,475
その他流動資産	6,566	6,336	-229	長期有利子負債	8,334	14,750	6,416
固定資産	26,245	31,547	5,302	その他負債	11,429	8,150	-3,278
有形固定資産	21,792	26,407	4,615	純資産合計	15,460	12,578	-2,882
無形固定資産	581	560	-21	株主資本	15,103	11,746	-3,357
投資有価証券	178	150	-27	その他包括利益累計額	143	516	372
その他投資等	3,693	4,429	736	少数株主持分	212	314	102
資産合計	86,408	90,197	3,789	負債及び純資産合計	86,408	90,197	3,789

通期見通し

- 2015年5月期 通期業績予想については、2015年1月14日発表の予想数値から変更はございません。

注: 当社の売上及び利益は、第4四半期の構成比が高くなる傾向にあります。

(単位:百万円)	2014/5期 実績	2015/5期 3Q実績	2015/5期 通期予想
売上高	169,528	96,167	149,276
営業利益	4,580	-2,488	2,269
利益率	2.7%	-	1.5%
経常利益	4,509	-2,703	1,807
利益率	2.7%	-	1.2%
当期純利益	1,717	-2,575	39
利益率	1.0%	-	0.0%

TamaHome®

< お問い合わせ先 >

タマホーム株式会社 経営企画部IR課

TEL : 03-6408-1200

<http://www.tamahome.jp/>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向および市場環境や当社の関連する業界の動向、その他内部・外部要因により変動することがあります。従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承ください。